

子どもたちのヘルスとセーフティ PR ～学校における保健と安心安全への取組～

神奈川県教育委員会教育局指導部
保健体育課長 大塚 和弘

学校は、子どもたちの学習の場であると同時に、健康づくりや安心、安全な環境づくりを実践してもらおう生活の場であると考えており、子どもたちが、健康と安心安全をプロモーションすること（＝ヘルスとセーフティPR）を願っています。

そのためには、仲間と意識しあえる関係性を築ける相手がいること、仲間と関係を築きながら相談し合い、より良い選択ができるように知識、技術、行動を共有することは欠かせません。そして、幅広い多様な選択肢の中から自分で決定していく過程をきちんと体験させることが重要です。

また、「新学習指導要領」（平成29年3月公示）では、「未来社会を切り拓くための資質・能力」を身に付けさせることがねらいとして示されていますが、そのためにも仲間と選択肢を新たに創造していく知識・技術・行動を身に付けていくことも大切です。

当課では、学校生活を送る子どもたちの体育、食育、保健、安全、環境衛生といった分野において、教材等による啓発・指導および指導者育成として教員研修講座の開催などを所管しています。また、小児保健に関わることとしては、学校における健康診断の運営を支えています。

学校で行う健康診断は「子どもたちの健康状態が、学校生活を送るに当り支障があるかどうか」をヘルスとセーフティの観点で判断するためだけでなく、学校や家庭における健康観察を共有したり、医療機関等につなげたり、子どもたちへの連携したヘルスとセーフティの支援を探る役割と、学校における健康・安全課題を明らかにして、保健・安全管理と健康・安全教育の充実に役立てていく役割があると考えます。

ぜひ、子どもたちがヘルシーでセーフティに「生きる力」を十分に発揮できるように、皆さまのお力をお貸しください。

